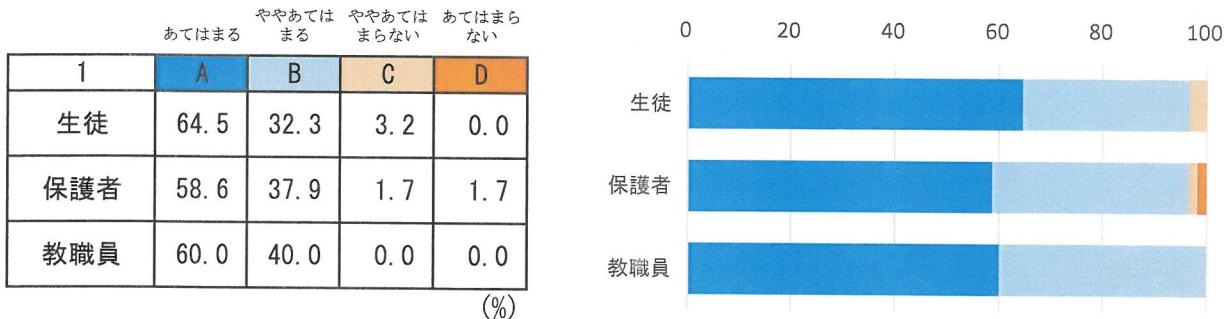


## 学校評価アンケート結果

### 質問 1 全般に関する項目

- (生徒) あなたは、楽しく学校に通うことができていますか。  
 (保護者) お子さんは、楽しく学校に通うことができていますか。  
 (教職員) 生徒は、楽しく学校に通うことができていますか。

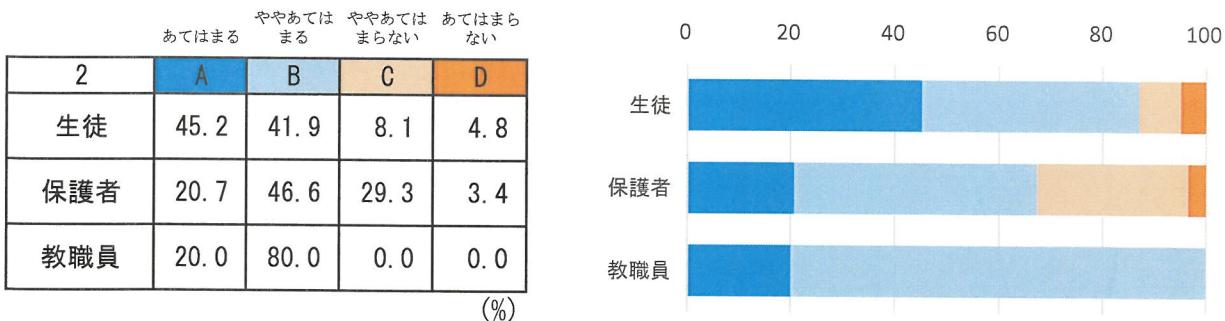


#### <学校コメント>

肯定的な回答は、生徒96.8%、保護者96.5%、教職員100%とそれぞれ9割以上である。  
 ○肯定的回答は全国学力学習状況調査（3年生）ふくしま学力調査（1・2年生）の生徒質問紙の回答と比較して10ポイント以上高い。また、今年4月に実施した調査に比べ、肯定的な回答をした本校生徒がさらに増えている。学習や部活動、行事等にやりがいを見いだし、学級や部活動の人間関係が安定している生徒が多いことがうかがえる。  
 ●少數ではあるが否定的な回答の生徒、保護者がみられた。思春期で無気力や不安定な状態になりやすい時期であるので、各生徒が学校生活に目標をもち、楽しいと感じることができる学校運営に努めていきたい。

### 質問 2 全般に関する項目

- (生徒) あなたは、将来の夢や目標を持って生活していますか。  
 (保護者) お子さんは、将来の夢や目標を持って生活していますか。  
 (教職員) 生徒は、将来の夢や目標を持って生活していますか。

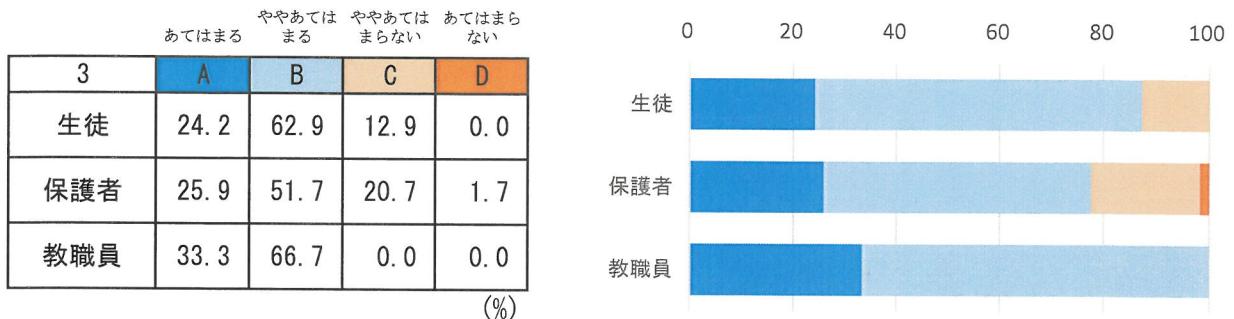


#### <学校コメント>

肯定的な回答が生徒87.1%、保護者67.3%、教職員100%である。昨年度と比較して、生徒の肯定的回答は9ポイント上昇したが、保護者の肯定的回答は若干減少している。  
 ○本校は、推進モデル校としてキャリア教育に注力してきた。生徒に将来への希望や生き方を考える機会や体験の場を提供するとともに、適切に称賛、助言を行い、自分のよさや自己有用感を育んでいきたい。  
 ●今年度の小中連携事業として、7月の授業参観後に、小・中学生と保護者、CS委員が意見交換できる場を設定したが、生徒と保護者が意見交流する機会を今後も継続して設定していく必要がある。

### 質問3 学習に関する項目

- (生徒) あなたは、難しい問題にも粘り強く取り組んでいますか。  
 (保護者) お子さんは、難しい問題にも粘り強く取り組んでいますか。  
 (教職員) 生徒は、難しい問題にも粘り強く取り組んでいますか。



#### <学校コメント>

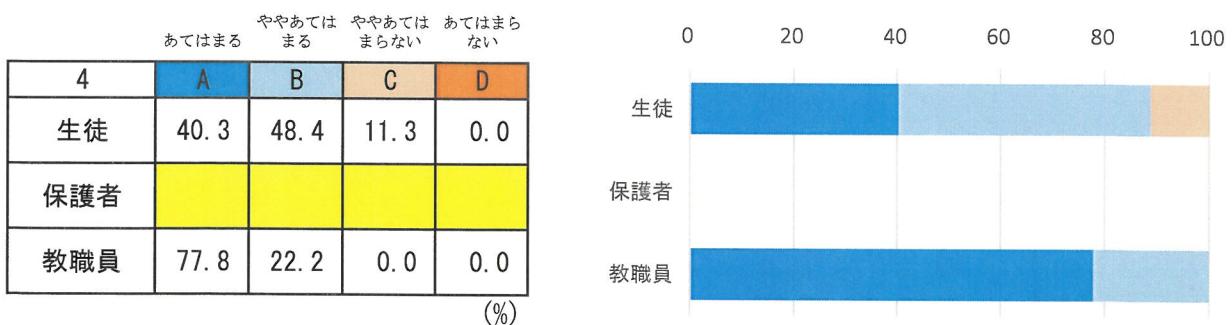
肯定的な回答は生徒86.1%、保護者77.6%、教職員100%。生徒、保護者ともに昨年度より増加している。

○本校の特徴として「課題が解決できるよう努力する」生徒が多く、全国や県の学力調査においても無回答率が低い。まったく糸口がつかめない状態でなければ、「自分なりに考え」「友達と協力し」答えを導き出そうと努めていることがうかがえる。

●「わからないことを先生に聞く」生徒が少ない。「わからないと認識しているが、何がわからないのかを言葉にできない」「周囲の視線が気になり質問できない」ことが原因と考えられる。学習形態を工夫しながら、質問しやすい授業の雰囲気づくりをする必要がある

### 質問4 学習に関する項目

- (生徒) あなたは、授業で話し合い活動に積極的に取り組んでいますか。  
 (保護者) 【※ 児童生徒・教職員のみ回答】  
 (教職員) 生徒は、授業で話し合い活動に積極的に取り組んでいますか。



#### <学校コメント>

肯定的回答は、生徒88.7%、教職員100%である。教職員の評価が大きく上昇した。  
 ○今年度、キャリア教育の推進が3年目となり、学年ごとに学級活動や各教科、総合的な学習の時間における話し合い活動の充実を目指してきた。学級の中には発言や発表を好まない生徒もいるが、話し合い活動の意義や必要性を理解している。

●生徒は話し合い活動によく取り組んでおり、他者の意見に耳を傾けているが、最後は多数決に頼ってしまう傾向がある。多様な考えが求められる議題を設定したり、双方が納得できる解決の仕方を習得できるよう促したりしながら、話し合い活動を今後も継続していく必要がある。

## 質問5 学習に関する項目

- (生徒) あなたは、毎日、平均してどのぐらいの家庭学習をしていますか。  
 (保護者) お子さんは、毎日、平均してどのぐらいの家庭学習をしていますか。  
 (教職員) 生徒は、自分に合わせた家庭学習をしていますか。

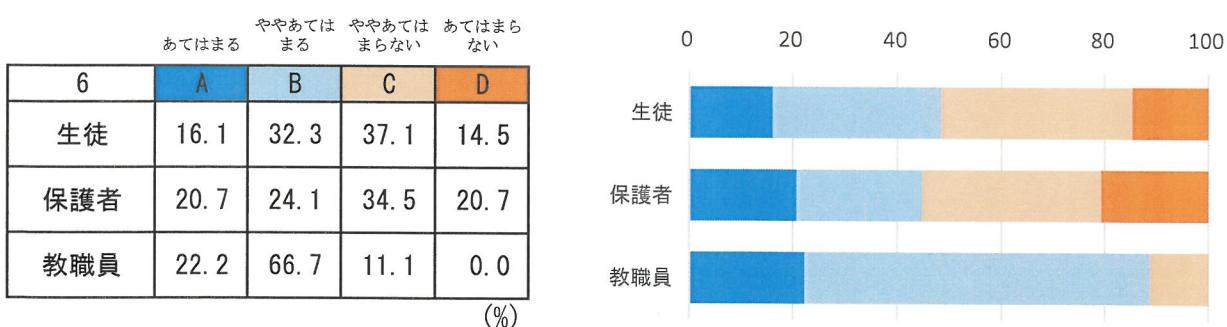


### <学校コメント>

昨年度から質問の仕方を変更した。本校の特徴として、まったく学習しない生徒はほとんどいないが2時間以上学習している生徒も少ない。保護者からみた生徒の学習時間はさらに短い。  
 ○ほとんどの生徒は、各教科で示された課題に真面目に取り組み、提出している。  
 ●中学生として2時間以上家庭学習している生徒が約1割、1時間以上の生徒が半数という現状は、家庭学習に対しての意識がまだまだ低いと言わざるを得ない。生徒が家庭学習の必要性を理解し、取り組みを充実させる指導を工夫し、習慣化していく必要がある。

## 質問6 学習に関する項目

- (生徒) あなたは、読書を習慣にしていますか。  
 (保護者) お子さんは、読書の習慣はありますか。  
 (教職員) 生徒は、朝の読書にしっかりと取り組んでいますか。

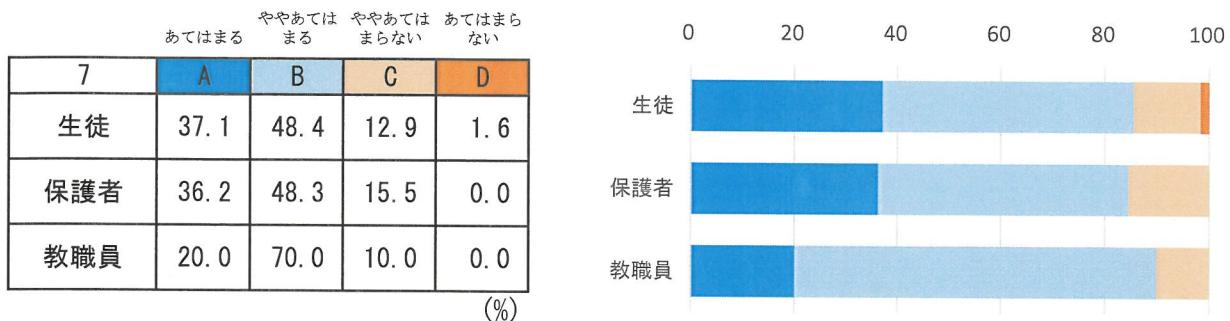


### <学校コメント>

肯定的な回答は、生徒48.4%、保護者44.8%、教職員88.9%、昨年度とほぼ同割合である。  
 ○生徒は、毎日の朝読書に静かに取り組んでいる。  
 ●別アンケートの回答から、本校生徒は「読書は好き」だが、「読書の習慣」がついていないことがわかる。また、図書室を利用しない生徒の意見として「読みたい本がない」という回答が多い。昨年度から実施している教科教室型を活用し、図書室と国語科室を連動させ、読書への意識を高めていきたい。保護者の回答割合から家庭で読書する習慣がない生徒が多いことがわかるため、家庭と協力して読書の習慣化を図る必要がある。

## 質問7 礼儀・思いやりに関する項目

- (生徒) あなたは、周りの人に気持ちの良いあいさつをしていますか。  
 (保護者) お子さんは、気持ちの良いあいさつをすることができますか。  
 (教職員) 子ども達は、気持ちの良いあいさつをすることができますか。



### <学校コメント>

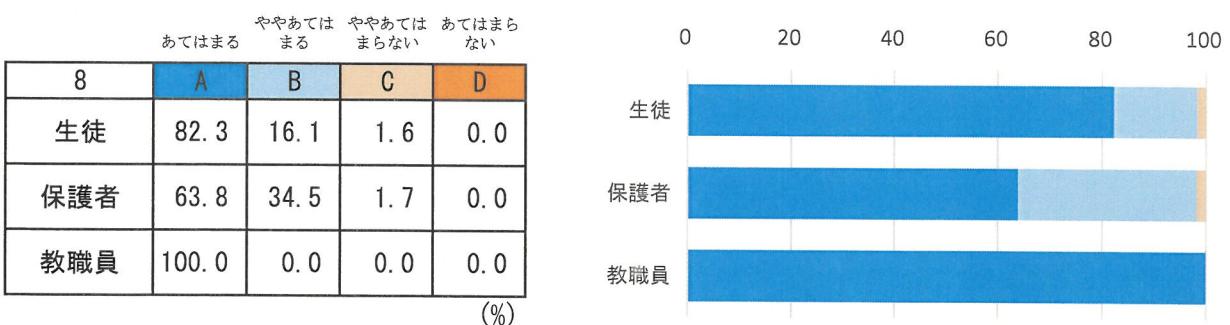
肯定的回答は、生徒85.5%、保護者84.5%、教職員90.0%、昨年度より生徒、教職員が若干減少し、保護者は若干増加した。

○来校者からは、本校生徒のあいさつに「清々しい気持ちになった」と称賛をいただくことが多い。生徒会が定期的に『あいさつ運動』を実施するなど、生徒間でもあいさつの大切さが理解されている。

●「相手に伝わるあいさつ」を実践できるよう、学校だけでなく家庭や地域が協力して「大人としての手本」となれるよう今後も努めていくことが大切である。

## 質問8 礼儀・思いやりに関する項目

- (生徒) あなたは、社会のきまりを守って生活できていますか。  
 (保護者) お子さんは、社会のきまりを守って生活できていますか。  
 (教職員) 生徒は、社会のきまりを守って生活できていますか。



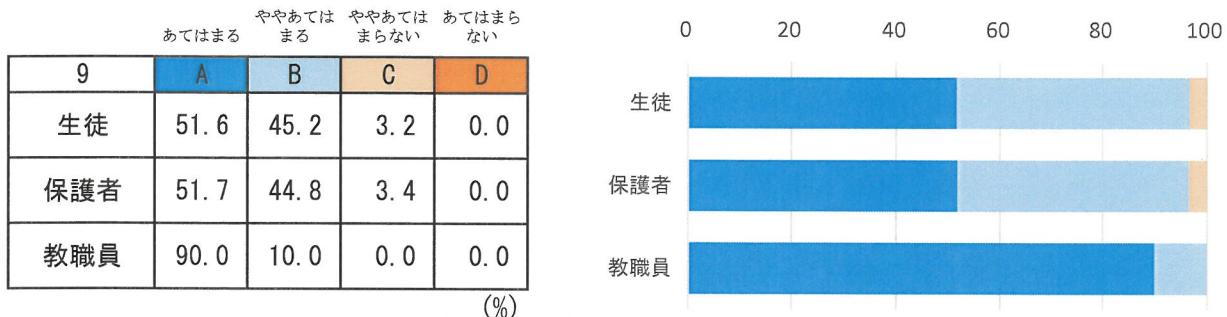
### <学校コメント>

肯定的な回答は、生徒98.4%、保護者98.3%、保護者100%と高い。  
 ○学校生活においても、きまりを守れなかったことによる指導はほとんどなかった。生徒の姿からも、公共のマナーや規範意識を家庭で幼少期から習得させていただいていることがわかる。

●規範意識は大切なことである。ただし過度な高まりは、きまりを守らない他者を罰する雰囲気をつくったり、きまりに従っていればよいという消極的な行動につながったりする。多様な個性を認めつつ、社会の中で安心・安全で楽しく生活していくためには、一定のルールやマナーなどのきまりが必要だということを生徒と確認し、『みんなで決めたきまりをみんなで守る』学校にしていきたい。

## 質問9 礼儀・思いやりに関する項目

- (生徒) あなたは、思いやりを持って周囲に接することができますか。  
 (保護者) お子さんは、思いやりを持って周囲に接することができますか。  
 (教職員) 生徒は、思いやりを持って周囲に接することができますか。

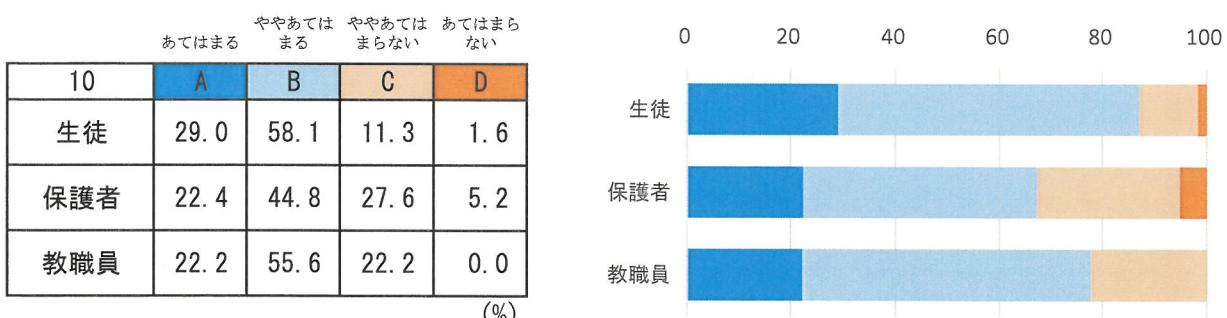


### <学校コメント>

肯定的回答は、生徒96.8%、保護者96.5%、教職員100%で、昨年度と同様に高い。  
 ○本校生徒にはおだやかな気質の生徒が多く「周囲のことを考えた言動」を心がけて生活しており、「人の役に立つ人間になりたい」と考えている。学校生活の中でも、乱暴な言動をする生徒はおらず、他人を傷つけない気遣いの大切さを理解している。  
 ●他人を傷つけることや自分が傷つくことを気にしすぎ、自分より相手を優先して行動する生徒や、自分の考えを表現できない生徒が見られる。

## 質問10 健康・運動に関する項目

- (生徒) あなたは、規則正しい生活をして、十分な睡眠をとることができますか。  
 (保護者) お子さんは、規則正しい生活をして、十分な睡眠をとることができますか。  
 (教職員) 生徒は、規則正しい生活をして、十分な睡眠をとることができますか。

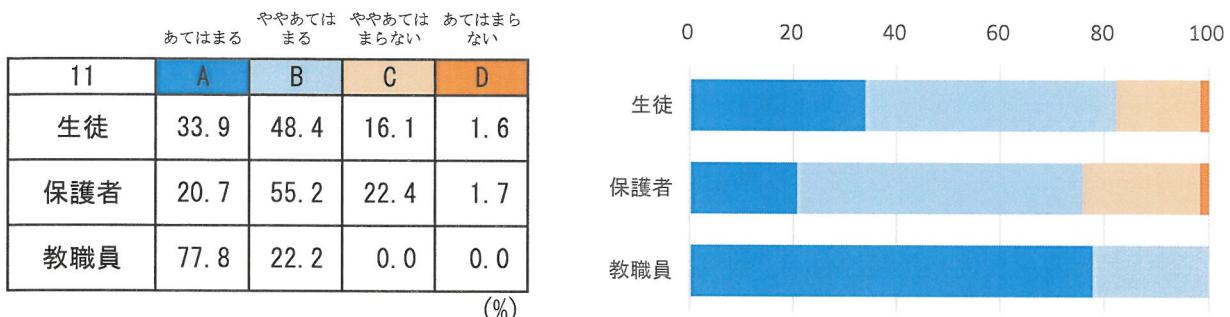


### <学校コメント>

肯定的回答は、生徒87.1%、生徒67.2%、教職員77.8%となった。生徒の割合は昨年度より増加したが、保護者の割合は若干減少している。  
 ○学校生活の中で、生活リズムの乱れからくる遅刻や体調不良等を繰り返す生徒はほとんど見られない。  
 ●否定的な回答の理由として、遅い時間までの学習、ゲーム機やスマートフォン、タブレット等の操作で就寝時間が遅くなり、十分な睡眠時間が確保できていないことがあげられる。

## 質問11 健康・運動に関する項目

- (生徒) あなたは、間食を控え、バランスの良い食事をとっていますか。  
 (保護者) お子さんは、間食を控え、バランスの良い食事をとっていますか。  
 (教職員) 生徒は、間食を控え、バランスの良い食事をとっていますか。

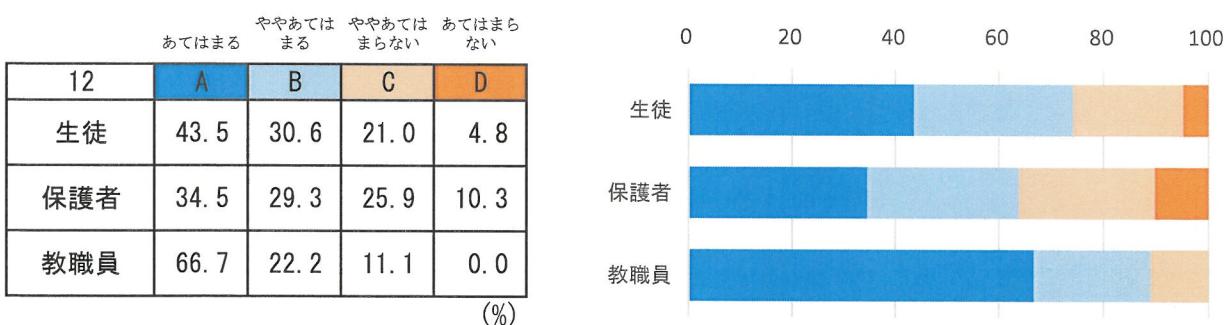


### <学校コメント>

肯定的な回答は、生徒82.3%、保護者75.9%、教職員100%である。  
 ○定期的に実施している朝食調べの結果から、ほとんどの生徒が毎朝、欠かさず朝食を摂取している。給食欠食日には、すべての生徒が弁当を持参しており、家族の協力に感謝したい。また、給食も好き嫌いなく食べ、残食量も少ない。今後もごはんコンテストへの参加やマイ弁当の日の設定などを継続して、食育への関心が高まる取り組みを継続していきたい。  
 ●昨年度に比べ、生徒と保護者の意識の差は小さくなった。家庭では好きなものだけを食べたり、ついお菓子に手が伸びたりする生徒がいると予想する。給食便りや保健便りをきっかけに、自身の健康や食生活に関心が高まるよう情報提供と充実を図りたい。

## 質問12 健康・運動に関する項目

- (生徒) あなたは、めあてを持って運動をしていますか。  
 (保護者) お子さんは、めあてを持って運動をしていますか。  
 (教職員) 生徒は、めあてをもって保健体育の授業や部活動に取り組んでいますか。

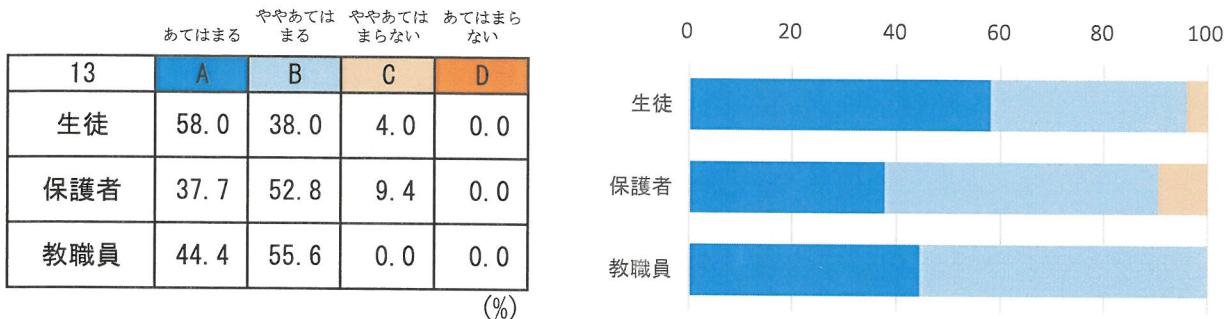


### <学校コメント>

肯定的回答は、生徒84.1%、保護者63.8%、教職員88.9%と、昨年度とほぼ同割合である。教職員は、保健体育の授業や部活動に限定して質問しているため高い傾向にある。  
 ○多くの生徒は、体育の授業が楽しいと感じており、運動部の練習でも意欲的に活動している。昼休みの体育館使用日には、学年を越えて好きなスポーツを楽しんでいる様子がみられる。  
 ●保健体育の授業と運動部の活動、昼休みの体育館使用以外に運動をする生徒が少ない。また、部活動引退後の3年生の運動量が著しく減少してしまう。自身の体力と健康増進のために、体を動かす意識を高める取組みが必要である。

## 質問13 健康・運動に関する項目

- (生徒) あなたは、家庭でインターネットに関する約束ごとを守っていますか。  
 (保護者) お子さんは、家庭でインターネットに関する約束ごとを守っていますか。  
 (教職員) 生徒は、インターネットに接続できる電子機器を安全に使用していますか。

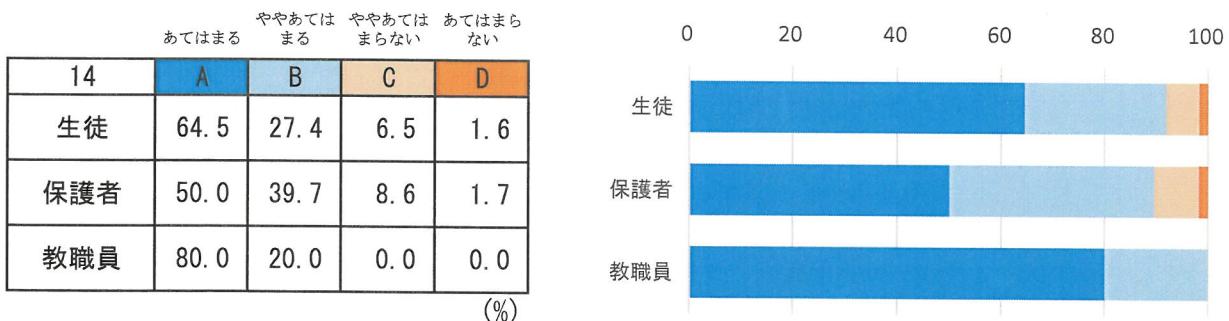


### <学校コメント>

- 肯定的な回答は、生徒96.0%、保護者90.5%、教職員100%である。  
 ○今年度から生徒用学習タブレットの持ち帰りを認めることとしたが、今のところ学習タブレットが原因のトラブルは起きていない。家庭でも、多くの生徒は保護者との決めごとを守つて活用していると考えられる。  
 ●ほとんどの家庭にインターネット接続可能な電子機器があるが、生徒の活用は動画視聴やゲーム、SNS等に偏っている。また長時間の活用に思い悩んでいる家庭もある。心身に与える影響やインターネット以外の余暇の活用について考える機会を設定し、意識の改善を促したい。

## 質問14 学校運営に関する項目

- (生徒) 先生は、生徒一人一人の様子をとらえ、生徒の努力を認めて生かすように努めていますか。  
 (保護者) 先生は、生徒一人一人の様子をとらえ、生徒の努力を認めて生かすように努めていますか。  
 (教職員) あなたは、生徒一人一人の様子をとらえ、それぞれの努力を認めて生かすように努めていますか。

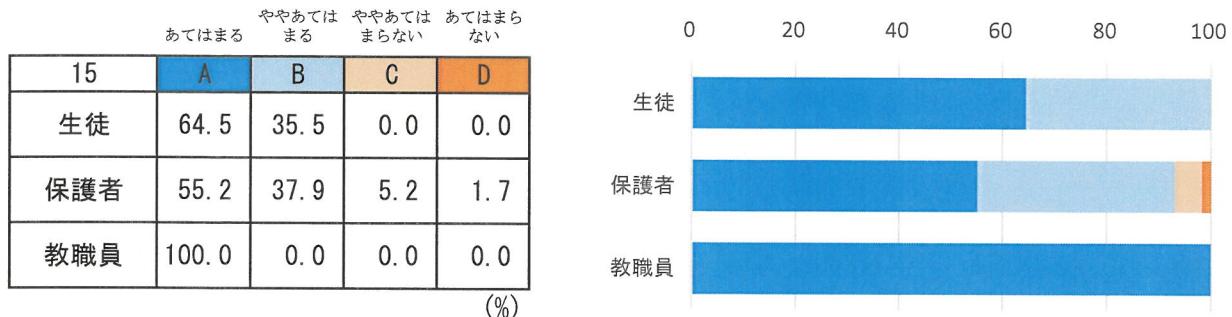


### <学校コメント>

- 肯定的回答は、生徒91.9%、保護者89.7%、教職員100%で、昨年度とほぼ同割合である。  
 ○9割を超える生徒が「授業が楽しい」、ほとんどの生徒が「自分のよいところを認めてくれる先生がいる」と回答していることから、各教科担任による複数の視点で生徒を理解し、信頼関係を深め、生徒を支えることができていると考えられる。  
 ●今年度も自由記述の項目には、保護者の方から学習指導や生徒指導へのご意見をいただいている。真摯に受けとめ、一人ひとりの良さや頑張りを認め、励ます言葉かけを継続していくたい。

## 質問15 学校運営に関する項目

- (生徒) 学校は、いじめがない温かな学級づくりに努めていますか。  
 (保護者) 学校は、いじめがない温かな学級づくりに努めていますか。  
 (教職員) 学校は、いじめがない温かな学級づくりに努めていますか。

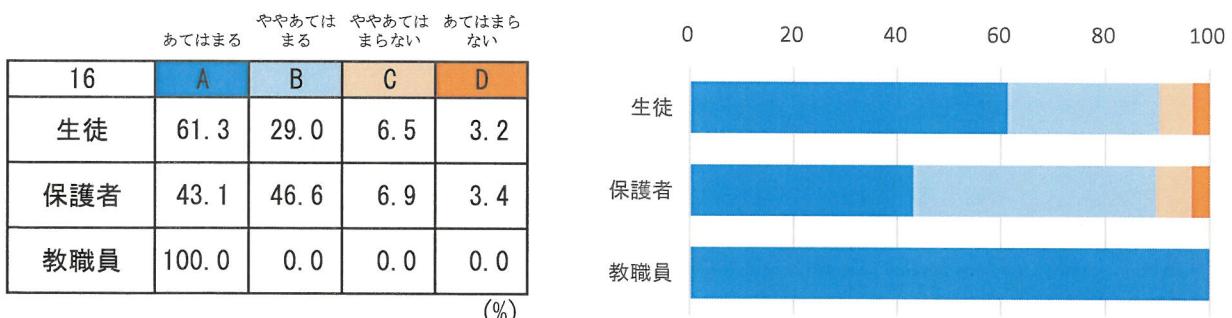


### <学校コメント>

肯定的な回答は、生徒100%、保護者93.1%、教職員100%である。  
 ○各学級や部活動における生徒の居場所づくりやいじめを許さない雰囲気づくりに日頃から努めるとともに、定期的に困りごと調査や教育相談を行い、生徒が安心して生活できるよう取り組んでいる。今後も温かな人間関係の構築を目指し、いじめを見逃さない態度で生徒と向き合っていきたい。  
 ●少數ではあるが、否定的な回答を保護者からいただいている。Oを目指して真摯に取り組んでいきたい。

## 質問16 学校運営に関する項目

- (生徒) 学校は、生徒の悩みや相談に対して親身になって対応していますか。  
 (保護者) 学校は、お子さんの悩みや相談に対して親身になって対応していますか。  
 (教職員) 学校は、生徒の悩みや相談に対して親身になって対応していますか。

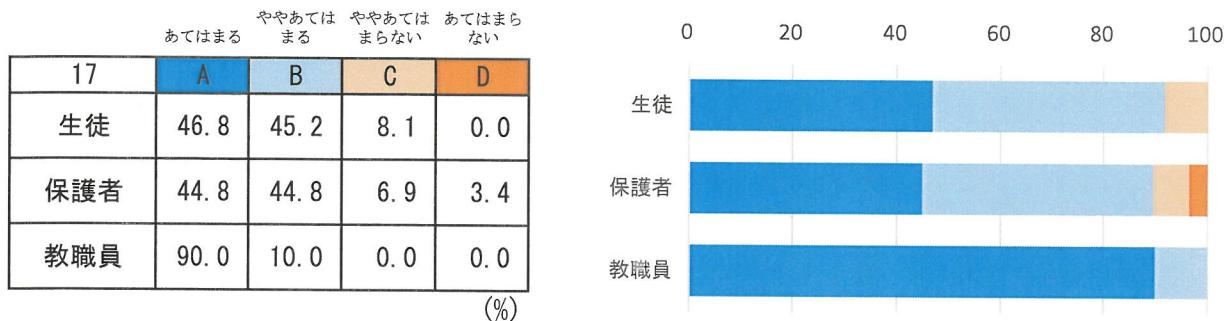


### <学校コメント>

肯定的な回答は、生徒90.3%、保護者89.7%、教職員100%で、生徒は昨年度より若干減少、保護者はほぼ同割合である。  
 ○今年度、全学年で担任の異動があったが、6月に行った同調査より肯定的な回答の割合が増加している。教職員との人間関係が構築されてきていることがうかがえる。  
 ●否定的な回答の生徒、保護者がみられる。生徒はそれぞれに悩みを抱えながらも、学校では気丈にふるまっていることが多い。「先生は自分のことを気にかけ、理解しようとしてくれる」と感じることができる関わり方をしていきたい。

## 質問17 学校運営に関する項目

- (生徒) 学校は、生徒の要望に迅速に対応していますか。  
 (保護者) 学校は、保護者や地域の要望に迅速に対応していますか。  
 (教職員) 学校は、生徒や保護者、地域の要望に迅速に対応していますか。

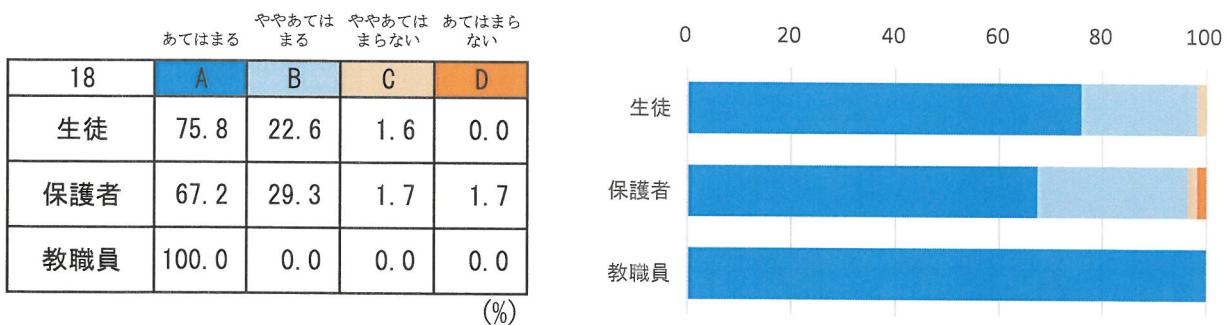


### <学校コメント>

- 肯定的な回答は、生徒92.0%、保護者89.6%であった。
- 9割の生徒、保護者が肯定的回答を寄せたことは、教職員が生徒の考えを尊重し、実現を目指して関わってきた成果と考える。
- 昨年度より、生徒、保護者ともに自由記述の意見、要望が少なかった。学校運営には、生徒はもとより、保護者、地域の支援が不可欠である。ご意見は忌憚なくお寄せいただきたい。
- 今年度も保護者の方々から、校舎、校地の修繕要望、安全面へのご意見をいただいている。市教育委員会と協議し、迅速に、適切に対応していきたい。（質問19に再掲）

## 質問18 学校運営に関する項目

- (生徒) 学校は、教育活動の様子を各種便りや、学校ホームページ等で分かりやすく伝えていますか。  
 (保護者) 学校は、教育活動の様子を各種便りや、学校ホームページ等で分かりやすく伝えていますか。  
 (教職員) 学校は、教育活動の様子を各種便りや、学校ホームページ等で分かりやすく伝えていますか。

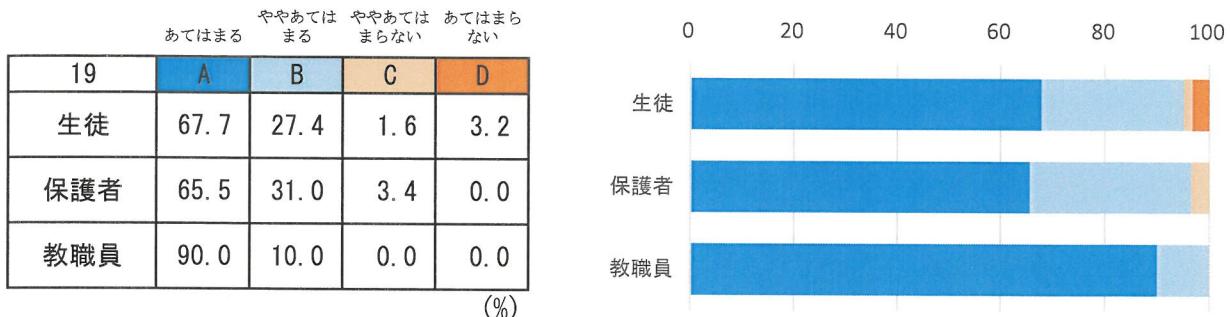


### <学校コメント>

- 肯定的な回答は、生徒98.4%、保護者96.5%である。
- 今年度も、1日1回以上のホームページ更新を目指した。1日あたり200～300のアクセスをいただいており、修学旅行や学習旅行、中体連の大会等については、多くの保護者、地域の皆様に閲覧いただいた。今後も学校の特色や生徒のよさをお伝えできるホームページにしていきたい。
- 今年度は各学年によりを発行し、生徒の学校生活の様子をより理解していただけるようにした。
- ホームページを中心とした情報発信をしているが、ICTに不慣れなご家族には、中学校の情報がなかなか伝わらない状況がある。

## 質問19 学校運営に関する項目

- (生徒) 学校は、教育環境を整備し、美化・安全管理に気を配っていますか。  
 (保護者) 学校は、教育環境を整備し、美化・安全管理に気を配っていますか。  
 (教職員) 学校は、教育環境を整備し、美化・安全管理に気を配っていますか。

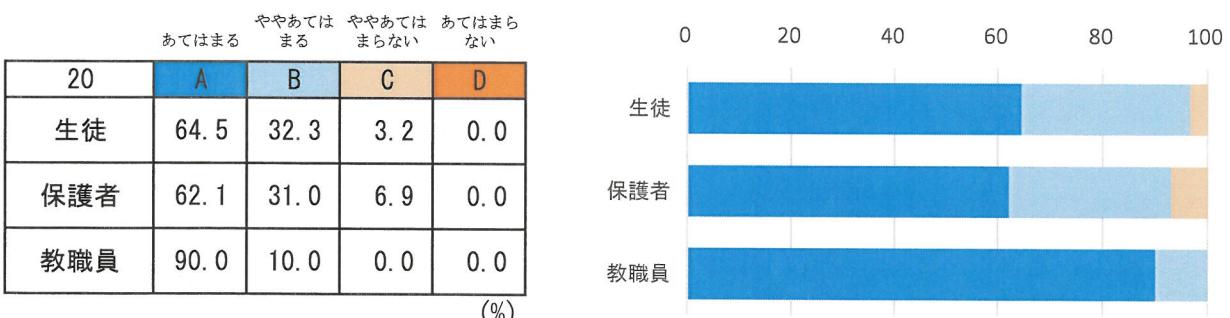


### <学校コメント>

肯定的な回答は生徒95.1%、96.5%である。  
 ○今年度は、新しくなったプールで水泳の授業を行うことができた。また、校地内の除草や樹木の剪定、体育館屋根や校舎外壁の修繕を行った。生徒が安全に、快適に学校生活を送ることができるよう今後も努めていきたい。  
 ●今年度も保護者の方々から、校舎、校地の修繕要望、安全面へのご意見をいただいている。できるだけ学校生活に影響が出ないよう努めたが、ご心配をおかけしたことは否めない。市教育委員会と協議し、迅速に、適切に対応していきたい。

## 質問20 学校運営に関する項目

- (生徒) 学校は、家庭や地域との連携を適切に行っていますか。  
 (保護者) 学校は、家庭やPTA、地域との連携を適切に行っていますか。  
 (教職員) 学校は、家庭やPTA、地域との連携を適切に行っていますか。



### <学校コメント>

肯定的回答は、生徒96.8%、保護者93.0%である。  
 ○PTA奉仕作業や文化祭には多くの保護者、地域の皆様に来校いただき、大変感謝している。また、平日にも関わらず授業参観にも足を運んでいただき有難い。

体験教室や職場体験などの行事を通して、小中学生が船引南地区のよさや人の温かさを実感できるよう指導し、保護者、地域の方々が学校に寄せる期待と信頼に答えられる学校運営をしていきたい。